

■ 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議との連携イベント ■

# 体感空撮映像とマップアプリによる 百舌鳥・古市古墳群の魅力発信

～ グランフロント大阪ナレッジキャピタルで7月6日まで開催 ～

関西大学総合情報学部 AMD (Art×Media×Design) プロジェクトは、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議〔大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市〕の協力のもと、体感空撮映像とマップアプリによって百舌鳥・古市古墳群の魅力伝える展示を、グランフロント大阪 北館 2階 ナレッジキャピタル アクティブラボにおいて下記の通り開催しています。

体感空撮映像は、高解像度カメラを搭載した無人航空機（ドローン）で、日本最大の仁徳天皇陵古墳（墳丘長 486m）、日本で二番目の大きさの応神天皇陵古墳（墳丘長 425m）とその周辺の眺望を撮影した映像作品です。直径 2.5m のドーム型スクリーンに投影された空撮映像によって、1500年の時を超えて今に残る巨大前方後円墳のスケールの大きさを実感いただくことができます。

マップアプリ「もずふる古墳群マップ」では、百舌鳥・古市古墳群として現存する 89 基の古墳を、古墳形状（前方後円墳、円墳、方墳）、墳丘長、時代、地域といった条件を選択しながら絞り込むことにより、該当する古墳群の所在地と詳細説明を地図上に表示できます。展示ブースでは、このマップアプリを 60 インチの大型タッチパネル・ディスプレイで操作しながら、大阪南部 3 市に広がる古墳群の関連性を大局的にご覧いただくことができます。

つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、取材・周知のご検討をよろしくようお願い申し上げます。

## 記

- 1 期 間 4月29日（金）～ 7月6日（水）
- 2 場 所 グランフロント大阪 北館 2階 ナレッジキャピタル アクティブラボ  
大阪市北区大深町 3-1（JR大阪駅より 徒歩 3分）  
（アクセス <http://kc-i.jp/access/>）
- 3 開館時間 10：00 ～ 21：00（期間中 定休日なし）
- 4 入館料 無 料
- 5 対 象 どなたでも可

以 上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266  
[www.kansai-u.ac.jp](http://www.kansai-u.ac.jp)

この伝統を、超える未来を。



【展示ブースの様子】

ナレッジキャピタル内の展示ブース



直径2.5mのドーム型スクリーン



左側はマップアプリ用のタッチパネル  
右側通路を入った奥にドーム型スクリーンを設置

【参考情報】

◆ 関西大学総合情報学部 AMD (Art×Media×Design) プロジェクト

関西大学総合情報学部において、メディアアート、情報可視化技術、ヒューマンインタフェース、情報デザイン等を研究する教員有志と各研究室学生による取り組み。映像・メディアアート作品展示を通して地域の魅力発信に寄与することを目指す。これまでに、堺市との地域連携事業として、江戸初期の古民家（堺市立町家歴史館 山口家住宅）において地域の歴史・文化をテーマとした展示会（AMD展）を2回（2016年3月、2015年3月）開催し多くの来場者を集めた。

[参考: <http://www.hz.kutc.kansai-u.ac.jp/city.sakai/machiya/amd/e2016.html> ]

◆ 百舌鳥・古市古墳群

百舌鳥・古市古墳群は大阪南部の堺市、羽曳野市、藤井寺市の3市にまたがる巨大古墳群で、堺市の「百舌鳥」と羽曳野市・藤井寺市の「古市」の2つのエリアに分かれているが、相互に一体性・連続性をもっている。このエリアには、4世紀後半から6世紀前半にかけて200基以上の古墳が築造され、そのうち89基は現在も残っている。

[出典: [http://www.mozu-furuichi.jp/jp/learn/mozu\\_furuichi.html](http://www.mozu-furuichi.jp/jp/learn/mozu_furuichi.html) ]

◆ 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議

百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録の早期実現をめざして、平成23年5月に大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市の知事および3市長をトップとして設立された。推進本部会議では、ユネスコ世界遺産センターに提出する世界遺産登録推薦書案の作成をはじめ、学術的な調査・研究、国内外への情報発信・機運醸成の取組みを進めている。

[出典: <http://www.mozu-furuichi.jp/jp/conference/headquarters.html> ]